

超精密とメカトロメーション®を追求する

**Seibu**

# 2026年3月期 決算概要

**西部電機株式会社**

(東証スタンダード・福証 証券コード6144)

# 2025年度決算 2026年度業績見通しのポイント



## 2025年度決算・2026年度業績見通しのポイント

## 受注高・売上高・各損益とも過去最高

1

2025年度受注高は40,212百万円（前期比+10.8%）  
2025年度売上高は全ての報告セグメントが増加し、39,265百万円（前期比+17.7%）  
受注、売上ともに2期連続で**過去最高額を更新**

2

2025年度損益は、原材料・資源価格の高騰等に伴う適正な価格転嫁を進めたことや生産ラインの最適化による生産性向上等が寄与し、  
営業利益は、4,195百万円（前期比+31.4%）  
経常利益は、4,292百万円（前期比+31.2%）  
親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却等もあり、3,516百万円（前期比+49.6%）と、すべての損益において**過去最高益を確保**

3

2026年度売上高は、40,830百万円（2025年度比+4.0%）を計画  
営業利益は4,370百万円（2025年度比+4.1%）  
経常利益は4,410百万円（2025年度比+2.7%）  
親会社株主に帰属する当期純利益は 3,000百万円（2025年度比△14.7%）を計画

4

2024年度から配当方針にDOE（連結純資産配当率）基準を採用  
2025年度配当は84.0円（DOE3.9% 配当性向36.0%）を予定  
2026年度配当は90.0円（DOE4.0% 配当性向45.1%）とする計画

# 2025年度（2026年3月期）実績



## 連結業績

## 受注高・売上高・各損益とも過去最高

(単位：百万円)

	2025年度	2024年度	前期比／差		2025年度公表値 (2025年7月31日)	公表差
受注高	40,212	36,305	+10.8%	+3,907		
売上高	39,265	33,352	+17.7%	+5,913	36,100	+8.8%
売上総利益（率）	11,715 (29.8%)	9,348 (28.0%)	+25.3%	+2,367		
販売費及び一般管理費	7,520	6,155	+22.2%	+1,365		
営業利益（率）	4,195 (10.7%)	3,192 (9.6%)	+31.4%	+1,003	3,500 (9.7%)	+19.9%
経常利益（率）	4,292 (10.9%)	3,271 (9.8%)	+31.2%	+1,021	3,590 (9.9%)	+19.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,516 (9.0%)	2,350 (7.0%)	+49.6%	+1,166	2,820 (7.8%)	+24.7%
EPS	233.12円	155.61円	－	+77.51円	186.67円	+24.9%
ROE	10.9%	7.7%	－	+3.2P		

- **受注高** 精密機械事業と産業機械事業が増加
- **売上高** 全てのセグメントにおいて増加
- **損益** 原材料・資源価格の高騰等に伴う適正な価格転嫁を進めたことや生産ラインの最適化による生産性向上等が寄与し、すべての損益において増益、また、政策保有株式の売却益を計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比49.6%増

## セグメント別実績

(単位：百万円)

	受注高	前期比	売上高	前期比	公表差	営業利益	前期比	公表差
搬送機械事業	12,179	△12.5%	13,195	+17.6%	+7.3%	1,142	+10.3%	△12.2%
産業機械事業	8,096	+16.8%	6,993	+5.2%	△1.9%	1,011	+4.8%	+3.2%
精密機械事業	19,120	+27.1%	18,300	+21.5%	+13.0%	2,019	+80.1%	+27.0%
その他/消去・調整	816	+100.3%	776	+85.7%	-	23	△67.1%	-
連結決算	40,212	+10.8%	39,265	+17.7%	+8.8%	4,195	+31.4%	+19.9%

## ■ 搬送機械事業

- ✓ 物流業界における構造的な人手不足や、半導体関連市場の需要拡大を背景に、自動化・省人化ソリューションへのニーズが引き続き高水準で推移
- ✓ 食品物流、自動車部品、半導体関連、ハウスメーカー向けなど、幅広い産業分野での案件獲得が進展

## ■ 産業機械事業

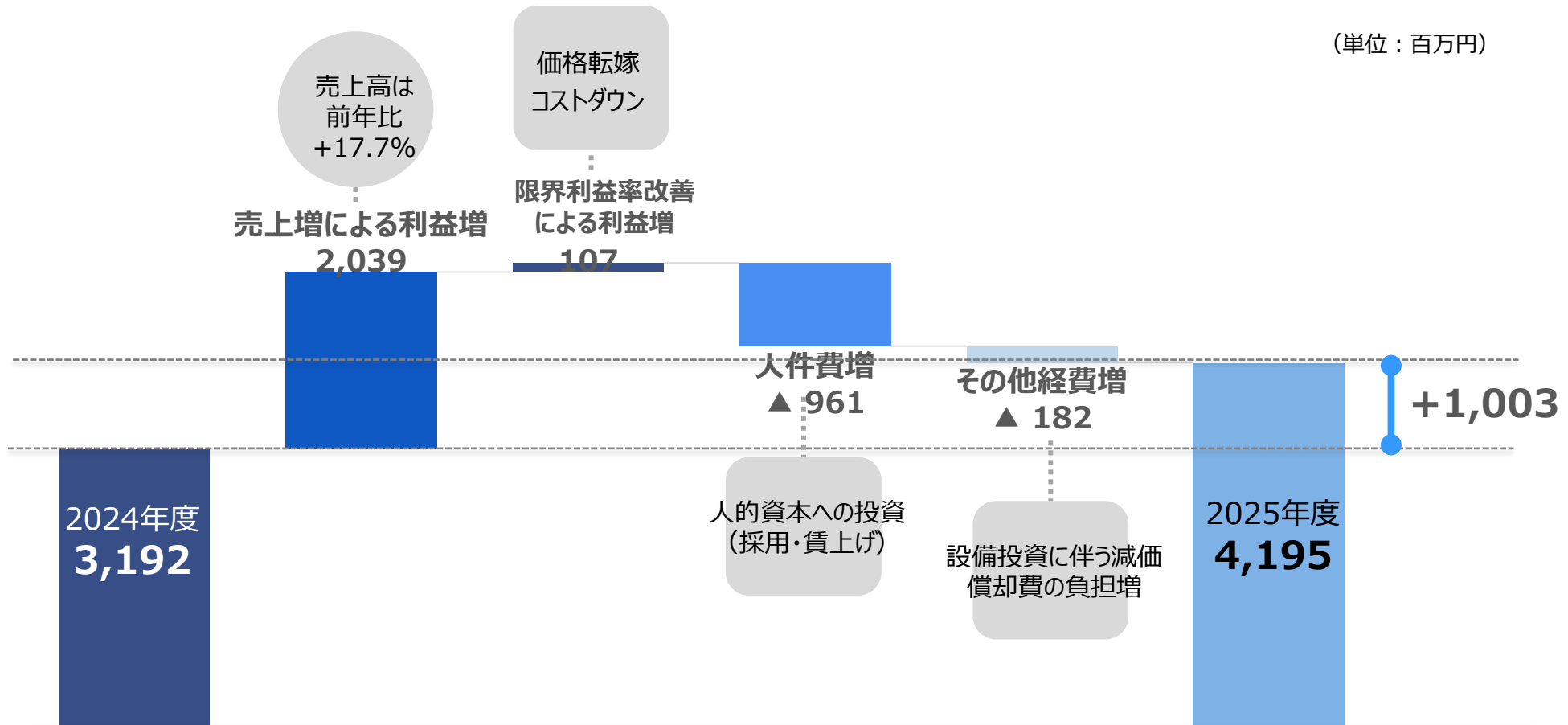
- ✓ バルブアクチュエータ国内シェアNo.1 の強みを生かし、民間分野における新規需要の掘り起こしを進めるとともに、手動水門の電動化・自動化による減災・防災および省力化対策に対応した製品開発を推進し、さらにサービス・メンテナンス事業にも注力
- ✓ 上水道分野においては大口メンテナンス案件の成約が進展したほか、減災・防災対策製品および護衛艦向け製品の納入が順調に推移

## ■ 精密機械事業

- ✓ 米国による関税引き上げや中国経済の低迷が懸念されたものの、生成AI関連投資の拡大を背景に、半導体市場向け、データセンター向け、電気自動車関連分野における需要は堅調に推移
- ✓ 生産体制の強化に向けて、新工場における自動化・DX化を推進した結果、生産能力が一段と向上し、増加する需要に対して安定的な供給体制を確立

## 営業利益増減要因

- 2024年9月に竣工した新工場の本格的稼働や生産ラインの最適化により生産性向上等が寄与し、売上増
- 原材料・資源価格の高騰等の中、適正な価格転嫁やコストダウンが進展し、限界利益率は改善
- 経営基盤強化を目的とした人的資本への投資により、人件費は増加
- 新ERPシステムの導入や新工場建設、機械設備などの投資に伴う減価償却費増により、その他経費増



## 貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月末	2026年3月末	前年度末比
現金及び預金	8,436	10,100	+1,664
売上債権	10,873	10,449	△ 424
棚卸資産	3,883	4,915	+1,032
有形固定資産	14,967	14,851	△ 116
投資有価証券	5,571	6,117	+546
その他資産	2,681	3,291	+610
資産 計	46,411	49,723	+3,312
仕入債務	6,734	6,042	△ 692
借入金	416	416	+0
その他負債	8,466	9,553	+1,087
負債 計	15,616	16,011	+395
純資産	30,794	33,711	+2,917
1株当たり純資産	2,038.43円	2,243.01円	+204.58円
自己資本比率	66.4%	67.8%	+1.4P
ネットキャッシュ	8,020	9,684	+1,664

## キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年度比
営業活動によるキャッシュ・フロー	541	<b>3,451</b>	+2,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,063	△ <b>257</b>	+2,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 976	△ <b>1,530</b>	△ 554
フリーキャッシュ・フロー	△ 2,522	<b>3,194</b>	+5,716

- ✓ 前年度に実施した支払方法の見直し及び2023年度末日休日の影響により、2025年度は前年度と比較して、営業キャッシュフローが増加しております
- ✓ 2025年度は、政策保有株式の売却等の影響により、投資キャッシュフローが増加しております

# 2026年度（2027年3月期）見通し



## 2026年度業績見通し

(単位：百万円)

	2026年度 見通し	2025年度 実績	前期比／差	
受注高	46,110	40,212	+14.7%	+5,898
売上高	40,830	39,265	+4.0%	+1,565
営業利益（率）	4,370（10.7%）	4,195（10.7%）	+4.2%	+175
経常利益（率）	4,410（10.8%）	4,292（10.9%）	+2.7%	+118
親会社株主に帰属する当期純利益（率）	3,000（7.3%）	3,516（9.0%）	△14.7%	△ 516
EPS	199.60円	233.12円	－	△ 33.52円
ROE	8.7%	10.9%	－	△ 2.2P

- 物流業界を中心とした人手不足を背景に、自動化・省人化・業務効率化に対する需要や、国土強靱化に関連するインフラ設備需要も底堅く推移し、中国・ASEAN地域を中心とした外需においても堅調な需要水準が維持されると期待
- 中東情勢の不安定化に伴うサプライチェーンへの影響や、原材料価格の変動および輸送コストの上昇などもリスクと認識  
様々な影響を最小化できるよう取り組んでいく
- 海外向けを中心とした精密機械、防衛・国土強靱化に対応した産業機械、今後さらに成長が期待される搬送機械の自動化需要を取り込み、ソリューション提案やサービス・メンテナンスへの注力により、売上高は過去最高となる408億円を見込む

## 2026年度業績見通し

(単位：百万円)

		2026年度 見通し	2025年度 実績	前期比／差	
搬送機械事業	売上高	13,400	13,195	+1.6%	+205
	営業利益(率)	1,340 (10.0%)	1,142 (8.7%)	+17.3%	+198
産業機械事業	売上高	7,400	6,993	+5.8%	+407
	営業利益(率)	1,100 (14.9%)	1,011 (14.5%)	+8.8%	+89
精密機械事業	売上高	19,450	18,300	+6.3%	+1,150
	営業利益(率)	2,150 (11.1%)	2,019 (11.0%)	+6.5%	+131

## ■ 搬送機械事業

- ✓ ロボティクス・マテハン®を中核とした自動化・省力化ソリューションの開発を一層強化し、自動化システムの提案活動を積極的に推進
- ✓ 国内市場に加えて成長が期待される東南アジア地域への販売体制を強化し、海外展開を通じた受注拡大を図る

## ■ 産業機械事業

- ✓ 農業用水路などの灌漑設備においても省力化ニーズが拡大しており、これらの課題に対応した電動ギヤラック式水門開閉装置「Semflex-LR30S」や遠隔監視・操作システム「S<sup>3</sup>CON」などのDX化製品への引き合いが好調に推移
- ✓ 市場環境の変化に柔軟に応じた製品開発を推進することで、社会インフラの安全性向上と効率化に貢献

## ■ 精密機械事業

- ✓ 中国における景気低迷が続く一方、AI半導体やデータセンター、ロボット関連などにおける当社製品に対する需要は堅調に推移
- ✓ 欧州においても販路開拓と営業活動の強化を進めており、北米、東南アジア地域と同様に中国以外の地域の拡販強化を図る
- ✓ 生産体制では、新工場におけるDX推進により従来比1.5倍の生産能力を達成しており、今後もさらなる増産体制の整備を進める

## 株主還元

DOE4.0%を目安とし、2025年度期末配当は42円を予定しております。  
2026年度は年間配当90円と予想しております。

## 2023年度までの配当政策

安定的な配当を継続して行うことを基本方針

配当性向 **30%**を目標

## 2024年度以降の配当政策

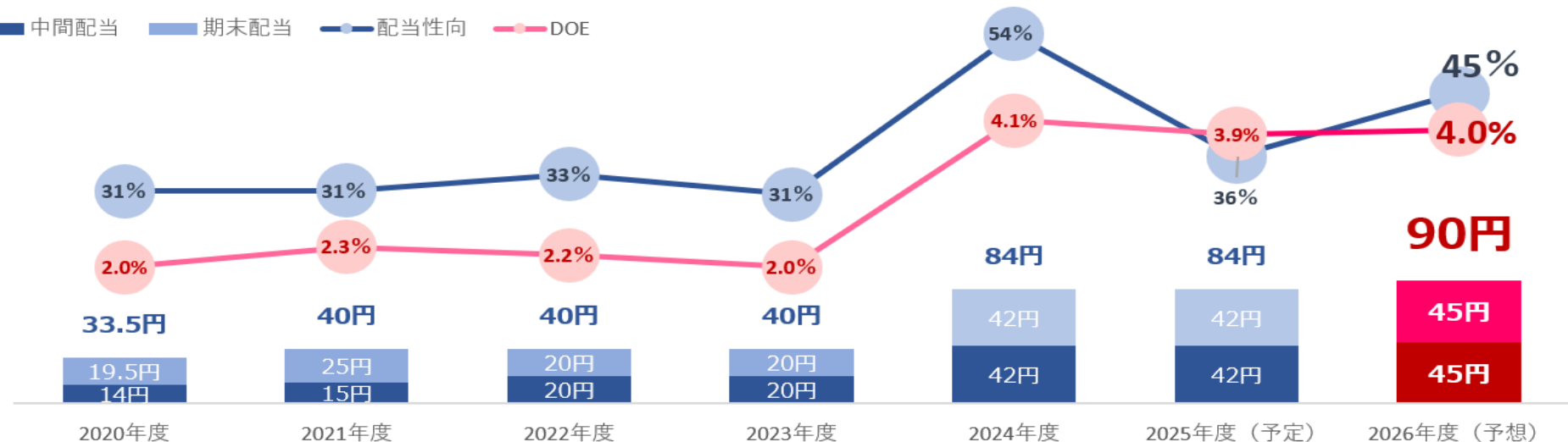
安定的な配当を継続して行うことを基本方針

DOE\*1  
(連結純資産配当率) **4.0%**を目安

実績

2025年度  
予定2026年度  
予想

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 配当性向 ● DOE



\*1. 連結純資産配当率 = 1株あたり配当金 / 期末1株あたり連結純資産

ご参考



## 「健康経営優良法人2026」に認定されました

## 健康宣言

西部電機では、社員一人ひとりが心身ともに健康で、生き活きと働ける職場づくりを目指し、健康経営に取り組んでいます。

メンタルヘルス対策や疾病予防の施策を進めるとともに、社員のワークエンゲージメント向上にも力を入れ、健康支援体制やサポートの充実を図っています。

社員とその家族が健康で明るく過ごせる環境を整え、地域社会や関連企業から信頼される企業であり続けるため、今後も健康経営を推進してまいります。



本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

超精密とメカトロメーション®を追求する

**Seibu**

**西部電機株式会社**

**東証スタンダード・福証（証券コード：6144）**

**〈お問い合わせ先〉 経営企画部**

**TEL：092-941-1500**

**FAX：092-941-1511**

**<https://www.seibudenki.co.jp/ir/>**